

2026年5月7日

報道関係各位

GMO コマース株式会社

## 店舗向け販促 DX「GMO マーケティングコネクト」の AI レcommend エンジン を刷新、パーソナライズ 配信対象が 18 倍に拡大 ～ GMO インターネットグループ AI 研究開発室（AI・データサイエンス専門組織）の 開発支援により、配信数増加を実現～

GMO インターネットグループの GMO コマース株式会社（代表取締役社長：山名 正人、以下、GMO コマース）は、GMO インターネットグループ AI 研究開発室の開発支援のもと、「GMO マーケティングコネクト」のレcommend エンジン を全面刷新いたしました。

今回の機能で変わるのは、「誰に届けるか」の精度と幅です。購入履歴と行動パターンを組み合わせることで、たとえば A という商品を購入したお客様に対しても「この人は A より B の方が好きそうだ」と、お客様の嗜好をより正確に分析できるようになります。その結果、これまで機会損失していた「購買可能性の高い顧客」の発見数が 18 倍<sup>(※1)</sup> に拡大。さらに、AI がお客様を状況別に分類し、見えていなかった顧客層もリストアップされるため、顧客育成から新規購入、離脱防止など多様なアプローチが可能になります。

配信対象が広がるほど、より多くのお客様への確かな情報を届けられるようになり、店舗の販促効果の最大化につながります。GMO コマースは本機能を通じて、店舗マーケティング DX をさらに加速してまいります。

(※1) 4 社を検証し、最大で配信対象者数が 18 倍となった（GMO インターネットグループ AI 研究開発室の開発システムを用いた当社検証による）



### 【背景】

小売・外食・エンターテインメントなど、店舗を持つ事業のカテゴリでは、57～61%<sup>(※2)</sup> の生活者が自分に合った情報を受け取りたいと考えています。一方、自分のライフスタイルと合っていない商品が提案さ

れると 53.7%<sup>(※3)</sup> が不快に感じており、的外れな配信への拒否感も根強い現状があります。つまり消費者は「個人に合った情報を求めているのに、合わない情報が届いている」という状況が続いており、その背景には届けるべきお客様を十分に見つけられていないという課題がありました。

また AI エージェントが「この人はどんなものが好きか」を分析し、ユーザーに代わって「あなたにはこれがおすすめ」と買い物の提案から購入までをこなす時代（Agentic Commerce）が近づいています。そうすると、AI エージェントに「このお店はユーザーに合った情報を届けてくれる」と判断されるかどうか、集客の新たな勝負どころになります。

GMO コマースは AI を効果的に活用できる独自の顧客データを保有しています。このデータをさらに深く活用するため、GMO インターネットグループ AI 研究開発室の技術力を加え、配信対象となるお客様をより多く発見し、状況別に自動で仕分けするレコメンドエンジンの全面刷新に至りました。

(※2) (※3) 株式会社マクロミル調べ 2025 年 9 月時点 <https://www.macromill.com/service/knowledge-blog/marketer-column-027/>

## 【新機能の特徴】

### ■「購買可能性の高い顧客」の発見数が 18 倍に拡大、予測精度も向上

今回の開発によって、お客様の購入履歴だけでなく、行動パターンも組み合わせて分析できるようになりました。これにより、これまでアプローチできなかった顧客層も配信対象として発見できるようになるとともに、「購買可能性の高い顧客」の発見数が 18 倍に拡大します。さらに一人ひとりの購買確率をより正確に判断する精度も向上しています。

### ■お客様を状況別に自動で分類、届けるべき相手が一目でわかる

AI がお客様を購入経験と購買確率をもとに状況別に自動で振り分けます。担当者はアプローチしたいグループを選び、そのグループに合った配信内容を作成するだけで、一人ひとりに合ったパーソナライズ配信が実現します。

たとえば過去に購入したことがあるものの、最近反応が薄くなってきたお客様グループの場合、商品を前面に押し出すよりも、自然なきっかけづくりが効果的です。そのようなときは、ポイントの有効期限が近づいているタイミングに合わせた特典案内など、お客様の状況に寄り添ったアプローチが専門知識なしに実現できます。

### ■今使っているチャンネルをそのまま活用、4 ステップで完結

「①商品選択→②訴求軸選択→③グループ選択→④配信」の 4 ステップで完結します。LINE・Instagram・店舗公式アプリ・メールなど今使っているチャンネルをそのまま使えるため、新たな費用や手間はかかりません。手作業では見つけることも届けることも難しかった顧客状況に応じた最適なアプローチを AI が自動で実行することで、業務効率化はもちろん、これまで以上に質の高いパーソナライズ配信が実現します。

## 【「GMO マーケティングコネクト」について】

(URL : <https://www.gmo-c.jp/lp/marketing-connect/>)

「GMO マーケティングコネクト」は、AI が顧客データ（アンケートやアクセスログなど）を分析し、お客様の購入可能性に応じた商品レコメンドや、類似顧客へのパーソナライズ配信を可能にすることで、店舗の売上向上を支援する CX（顧客体験）プラットフォームです。

LINE、店舗公式アプリ、メール、Instagram の 4 つの主要マーケティングチャネルの使い分けを効率化する機能を搭載。これにより、最適なタイミングでの販促アプローチが可能となり、店舗のマーケティング DX 推進と、業務効率化に貢献します。

## 【GMO インターネットグループ AI 研究開発室について】

(URL : <https://recruit.group.gmo/engineer/jisedai/ai/>)

GMO インターネットグループ AI 研究開発室は、GMO インターネットグループのグループ研究開発本部に属する AI・データサイエンス専門組織です。グループ横断の事業やプロジェクトにおいて、データ解析や機械学習、生成 AI の実装・運用を通じてビジネスの成功を支援することをミッションとしています。インターネット広告・金融・セキュリティ・EC など幅広い事業領域において最新の AI 技術を研究開発し、いち早くビジネスに投入することでグループ各社のサービス価値向上に貢献しています。

## 【GMO コマースについて】

GMO コマースは、“すべてのお店の「マーケティングプラットフォーム」に”を目指し、各業界の中小規模から大手チェーン店に至るまで店舗のマーケティング DX 推進と CX 向上を支援するサービス「GMO マーケティングコネクト」や「GMO マーケティング DX」を提供しております。質の高いサービスとお客様に寄り添った運用支援により、継続率 98.3% <sup>(※4)</sup> という高い顧客満足度を実現しています。

GMO コマースが提供する「GMO マーケティング DX」では、LINE や Instagram などの SNS マーケティング支援サービスを展開しております。なかでも LINE のサポートサービスは 2014 年 5 月から積み上げてきた効果的な運用ノウハウを活かした提案と担当制のサポートを行っています。こうした豊富な支援実績が高く評価され、2025 年には「LINE ヤフー Partner Award 2025」<sup>(※5)</sup> にて「Best LINE 公式アカウント Growth」部門 <sup>(※6)</sup> を受賞。Store Promotion Partner の中で唯一の受賞企業となっています。

(※4) 当社調べ 2025 年 12 月時点

(※5) 「LINE ヤフー Partner Program」に参画するパートナーの中でも特に優れたソリューション提案や、広告事業における売上拡大・市場開発に貢献したパートナー企業が表彰されます

(※6) LINE 公式アカウントを活用し、ビジネス拡大に最も貢献したパートナーに贈られる賞です

以上

---

### 【報道関係お問い合わせ先】

GMO コマース株式会社  
経営企画部 吉田  
TEL : 03-3770-7030 FAX : 03-3770-7031  
E-mail : [info@gmo-c.jp](mailto:info@gmo-c.jp)  
URL : <https://www.gmo-c.jp/official-inquiry/>

### 【サービスに関するお問い合わせ先】

GMO コマース株式会社  
商品企画部 山本  
TEL : 03-3770-7030 FAX : 03-3770-7031  
E-mail : [service\\_inquiry@gmo-c.jp](mailto:service_inquiry@gmo-c.jp)  
URL : <https://www.gmo-c.jp/service-inquiry/>

GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 倉田

TEL : 03-5456-2695

URL : <https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

**【GMO コマース株式会社】 (URL : <https://www.gmo-c.jp/>)**

会 社 名	GMO コマース株式会社 (東証グロース市場 証券コード 410A)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス 13階
代 表 者	代表取締役社長 山名 正人
事 業 内 容	■店舗の CX 向上および DX 推進を支援するマーケティングプラットフォーム等の開発、提供
資 本 金	11 億 328 万円

**【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.group.gmo/>)**

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能)  ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Commerce, Inc. All Rights Reserved.